

区分・種別	県指定有形文化財（絵画）		
名 称	ねはんぞうおよびりょうかいまんだら 涅槃像及び両界曼荼羅 3幅		
所 在 地	西条市壬生川広江		
所 有 者	徳蔵寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和45年3月27日		
解 説	<p>この^{ねはん}涅槃像は、縦178cm、横123cmの絹本着色である。</p> <p>画家は不明であるが元禄年間（1688～1704年）初期の作といわれ、保存状態がよい。</p> <p>^{ねはん}涅槃図は釈迦が入滅するときの状況を描いたもので、^{ねはんえ}涅槃会の仏事の際にこれを掲げ、釈迦の死をしのんで供養するためのものである。</p> <p>胎蔵界及び金剛界は^{りょうかいまんだら}両界曼荼羅と呼ばれ、対になっている。胎蔵界は、母胎が子を保ち育てるように万物を包容する世界を、また、金剛界は大日如来の智慧を表し理性を示す世界を指している。この絵画は双方とも縦101cm、横86cmで絹本着色である。制作の時代は不明であるが、入念に描かれた優れた作品である。</p>		

